

第5回 市街化調整区域あり方検討委員会を開催しました。

第5回委員会を下記開催概要のとおり開催しました。当日委員会では、第4回委員会の振り返りを行った後、中間とりまとめ(案)及び各エリアにおける規制・誘導手法について事務局から説明しました。各委員からは、緑地・農地の保全を支援する仕組みが必要、エリア別の規制・誘導策のあり方の検討が必要などの意見が出されました。

中間とりまとめは、当日出された各委員の意見を踏まえ作成することとなりました。

<委員会開催概要>

日時：平成18年5月31日(水) 18:30～20:20

場所：市庁舎5階 特別会議室

出席者：蓑原委員長、柳沢副委員長、内海委員、高見沢委員、田代委員、半田委員
まちづくり調整局長、本市協力委員 14名、他本市職員

<委員会での主な意見>

・中間とりまとめについて

現状の緑を維持するだけでなく、創造するという姿勢を明記する必要がある。

・緑地・農地の保全を支援する仕組みについて

土地利用の規制・誘導策のみではなく、市民の協力が得られるよう強いコンセンサスを形成する必要がある。

・エリア別の規制・誘導策のあり方について

観念的に議論するのではなく、様々な手法の可能性を探りながら個別に検討を進める必要がある。

<次回予定>

日時：平成18年8月10日 18:30～

場所：市庁舎5階 特別会議室